

校内研修支援研修「言語活動の充実」佐敷小学校にて開催

島尻教育研究所の短期研修に校内研修支援研修があります。

7月27日には「授業における言語活動の充実に向けた理論と実際に関する研修をとおして、校内研修の充実に資する」ことを目的とし、琉球大学附属小学校研究主任上原千秋氏を佐敷小学校に講師として派遣し、研修を行いました。

佐敷小学校の校内研修テーマ「基礎的・基本的な知識や技能の定着及び活用力を身につける算数科指導の工夫」に関連づけながら、言語活動の充実について講話していただきました。屋比久守校長先生をはじめ、多くの先生方が、熱心に聞き入った充実した研修会でした。

講話の主な内容

- 1 言語活動とは
 - 言語活動とは
 - 学習指導要領から
 - 各教科等における言語活動の充実の意義
 - ・知的活動（論理や思考）に関すること
 - ・コミュニケーションや感性・情緒に関すること
 - 各教科等における言語活動を充実させるための留意点
- 2 国語科における言語活動の充実
 - ① 本単元で付きたい力の明確化
 - ② 付きたい力と言語活動の選択
 - ③ 単元を貫く言語活動の位置づけ
 - ④ 子供の主体性の生かし方
 - 授業の実際「一つの花」
- 3 教科書の特徴
- おわりに
 - 書く活動を様々な場面で
話すこと・聞くこと、読むことの領域でも
→ 筆まめな子供の育成
 - 書く活動に条件を付けることで
書く、話す・聞く、読む活動の質の向上を
→ 思考力・判断力・表現力の伸張
 - 特に、根拠を書くことを重視
→ 論理的思考力の伸長



写真1 講師の上原千秋先生



写真2 佐敷小の研修の様子

研修の感想 (アンケートから)

- 実践につながる内容でとてもためになりました。理論がとても分かりやすかったです。
- 年間を見通して学習計画を立て、子ども達に伝えて活動させるのは、今後使おうと思います。
- 1年間を見通しを立てて計画的に行うことが大切だと思いました。そのために、教材研究をしっかりとやっっていこうと思います。
- 実際の教材で説明なさっていたので、とても分かりやすく、2学期からの教材研究にいかしていきたいと思ひます。
- 授業の主体性を引き出す年間を見通しと他教科関連を見通す計画を作成することはとてもよかったと思ひます。
- 「言語活動」はすべての教科の基礎であることを確認しました。年間を見通したカリキュラムマネジメントはスリム化と重点化ができ、大切だと思ひました。
- 「言語活動の充実」が求められている中、コミュニケーション力等の向上を図るための授業づくりや実践例をもとに講話が聞けて学ぶものが多い内容でした。とても充実した研修ができてよかったです。
- 算数では単元の学習計画を提示して進めているのですが、国語も提示していると進捗を確認できると聞き、すぐに実践していこうと思ひました。